



【特集】

技 シニア世代が安心して暮らせる住まい ～トイレと洗面所を併設した寝室～

●暖かくて快適な寝室

神通川(富山市)の土手近くに広がる閑静な住宅街の一角に、瀟洒な佇まいを見せる1邸。長年、ご夫婦一人の生活だったが、近くに住む娘さんご夫婦との同居が決まったことをきっかけに、母屋と渡り廊下でつながった寝室を増築された。

「同居となると、水回りのことが一番気に掛かりますよね。娘とはいえ、双方で気兼ねして暮らすのもいやですから、寝室に私たち専用のトイレと洗面所をつくらうと思いましたが、そこまで世帯別にしなくても設置しなかつたという。築二十三年の住まいは、良質な部材の使

用と日頃の手入れから傷みもなく、手を加える必要がなかつたことも大きな理由だった。

増築にあたり、1さんご夫婦が強く希望したのは、二人でのんびりとくつろげる暖かい部屋。「これまでの寝室は狭くて、採光も不十分で寒かつたんです。とにかく、暖かい部屋に」とご主人。八十歳を超えながらも車の運転や陶芸などを楽しむ、お元氣なご主人だが、歳とともに夜間にトイレに立つ回数も増え、寝室にトイレがあればとも以前から願っていたという。



▲南北からの採光で明るい洋室(11帖)。フローリングに大型ベッドを配置。窓の横にはテーブルと椅子。



▲折れ戸を採用した全開放の洗面所(中央)。明るく、清潔感漂うトイレ(左)。



▲増築部分は、中庭に面した離れ風のつくり。



▲母屋と増築部分をつなぐ渡り廊下。以前の寝室は窓のサッシごと残した。

●中庭を眺めて、ホッと一息

増築場所は、南側に広がる中庭の一部。完成した寝室は約十帖の空間にトイレ、洗面所をプラスした高級ホテルのフルームのような広々とした設計で、大きな掃き出し窓から、中庭の眺望が楽しめる。ベッドに横になりながら、またフロアーに置かれた椅子に腰かけながら、のんびりと樹木を眺められる設計となっている。庭に出られるように、寝室横に手すり付きの階段が設けられている点も印象的だ。庭は、玉砂利を敷いた小池に石橋を渡した情緒あるつくりで、左手の寒椿、右手の松の佇まいにも情趣をそそられる。母屋と寝室をつなぐ渡り廊下は庭に沿って設けられているが、趣きのある寒椿を移植せずに残そうと、廊下を斜めにずらして調整したほど。1さんご夫婦の樹木に対する深い愛情が感じられる。

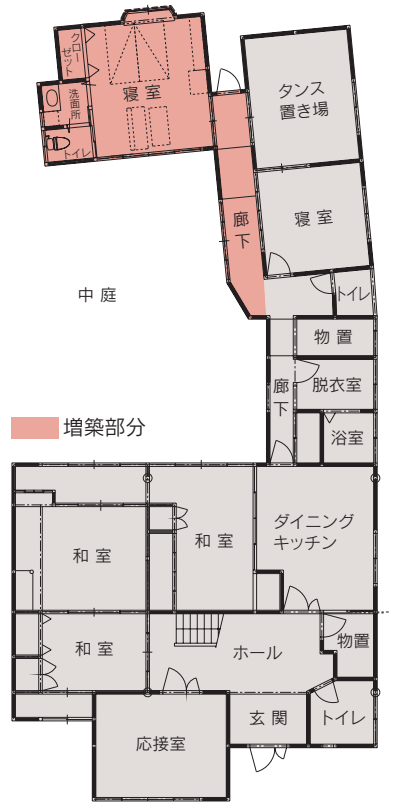
●換気や湿気対策も万全

大きな窓にペアガラス、床にナチュラルカラーのフローリングを採用した寝室は、天井が高く、明るく開放的な印象だ。壁面にクローゼットも設けられており、収納も申し分ない様子。二重張りの床下によって断熱性能も高く、寒さが厳しい冬でも温かく快適な居住空間が作り出された。寝室からトイレに入る戸は引き戸、洗面所は折れ戸となっており、大きく開口できることもポイント。将来、もし車椅子を使うことになった場合に備え、車椅子でも入れるような工夫がなされている。

「トイレの便器は人の気配に反応して便フタが自動的に上下するタイプ。アイルを帯びたシンプルなデザインが美しく、サイドの収納棚とともに快適なレストルームを演出している。」

「ベッドからすぐにトイレに行けるようになつて安心です。足元灯が自動的に点灯するようにもなつているので助かります」と奥様は目を細める。

シニア世代が安心して暮らせる空間の創造。1邸からは、高齢化が進むこれからの社会で増えるであろうリフォームの在り方が見えるようだ。



1階平面図

今月のオーナー訪問



富山県富山市 1様

『ゆっぴのある二世帯
住宅になりました』

二世帯がゆとりを持って暮らせるように、庭の奥に平屋の寝室を増築しました。テーブルと椅子を置き、書斎としても使っています。ガラス越しに眺める庭も美しく、四季の移ろいがすぐにわかります。若い頃に植えた松も立派になり、私たち夫婦のこれまでの人生を見守ってきてくれたような気がします。

寝室には、背もたれの角度調整機能などがある大型のベッドや、車椅子の生活になつても大丈夫なように広々としたトイレと洗面所を設けました。いずれも使いやすく、助かっています。



技のリフォーム

イワサ ミセマス
0120-183-304